

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

◆VCN°29 カリーム・ヴィオネ

生産地方：ボジョレー

新着ワイン2種類♪

ペティアン・ナチュラル グラビュージュ 2018 (ロゼ泡 中辛口)

2017年、ジュール・ショヴェの畑が雹に遭いブドウが酷く傷んだため、デュ・ブール・ダン・レ・ピナールが仕込めず、代わりにブドウを直接プレスしてペティアンに仕上げたのがこのグラビュージュだった。当初は一回きりのペティアンの予定だったが、日本を初め各国で好評だったため2018年も継続することになった！今回は、ランティニエのブドウを使用。カリームの持つ畑の中で一番標高が高く、ブドウに酸が乗りやすいという理由からランティニエが選ばれたようだ。2018年は前年よりも残糖が少なく、酸とミネラルの効いたスマートな中辛口に仕上がっている！ほどよく引き締まった甘さなので、アペリティフやデザートワインはもちろん、サラミソーセージや茹でたモルトソーセージとも相性が良い！（ちなみに、カリーム曰く、アメリカのインポーターは中華料理と合わせているようだ！）

AC ボジョレー・ヴィラージュ キュヴェ デュ・ブール・ダン・レ・ピナール 2018 (赤)

2017年は雹の被害により収量が取れず仕込むことができなかったが、2018年は反対に大豊作に恵まれ、収穫日もかつてないほど早かった！ちなみに、まわりの生産者の中でカリームが一番早く収穫に取り掛かったそうで、まわりからは未熟なブドウを収穫していると嘲笑されたようだ。だが、彼曰く、この早いタイミングで収穫できたことが今回の成功につながったとのこと。彼が「2018年は自信作！」と言うように、ワインは酒質が柔らかくピロードのようで、アルコール度数12.5%とは思えないジューシーなコクがあり、洗練されたミネラルのニュアンスと酸のバランスが絶妙！ワインに安定感があり、ガメイの良さが最大限に引き出されたワインだ！

ミレジム情報 当主「カリーム・ヴィオネ」のコメント

2018年は、ブドウがかつてないほど早熟で収量の取れた当たり年。冬は暖冬で雨が多かった。芽吹きも早く、その後も5月終わりまで雨の多い天候が続いた。途中ミルデューが葉などに始まったが、開花には影響を及ぼさなかった。6月に入り一転、雨の降らない乾燥した天候が収穫終わりまで続いた。8月には猛暑が続き日照りの心配があったが、春と冬に降った雨の貯蓄があったおかげで水不足はどうか逃れた。最終的に収穫は、早熟だった前年よりも1週間早い8月終わりからスタートした。

「ヨシ」のつ・ぶ・や・き

ここはカリームのシルーブルの畑。(写真①)今回初めて彼のシルーブルの畑を訪問したが、意外と標高があり、畑もかなり急こう配だ。訪問した時にちょうど朝の小休憩が終わり収穫を再開するところだった。



写真① 急こう配なシルーブルの畑



写真② 収穫者はポーランドからのチーム

(写真②) カリームの収穫者は全てポーランド人。フランス人は支払いが高つくため、経費削減のため3年前からポーランドの出稼ぎ労働者を採用するようになったそうだ。彼らは数家族が一同となり約1ヶ月間ボジョレーに滞在し、各生産者を毎日休みなく収穫してまわる。「フランス人であれば、このシルーブルの傾斜にすぐ音上げる者がほとんどだが、ポーランド人は本気で稼ぎに来ているので文句ひとつ言わず黙々と働く。支払う額がフランス人よりも安ければ、彼らに頼ってしまうのは当然」と彼は言う。写真をよく見たら分かるが、Porteur（ポーター）と呼ばれるブドウ運び人がロープを伝って降りている。ロープがないと足場が危ういくらい畑の傾斜が急だということが分かる。実際、私も写真を撮るために傾斜を降りようとしたが、砂地の表土が滑りやすく、何度か転びそうになった…。カリームのシルーブルはいつもエレガントで、彼のワインの中でもとても人気のあるキュヴェだが、今回この畑の傾斜を見て、なぜ彼のワインの中で人気なのかが分かったような気がした。

カリームにはノエミという20代前半の娘がいる。(写真③) 彼女は父親に似ず(笑?)、真面目で介護のディプロムまで持つ才女だ。昨年まで市の介護施設で働いていたが、カリームの足の持病が悪化し、びっこを引くようになったのを見かねて、今年初め介護施設を退職し、父の仕事を手伝うことに決めたそうだ。彼女自身も、幼少の頃から休みの時に小遣い稼ぎのためにカリームの仕事を手伝っていたこともあって、ワインの仕事には少なからず興味は持っていたようだ。今彼女はトラクターの仕事以外は、畑仕事から醸造のアシスタント、書類関係まで何でもこなしている。カリーム曰く、ノエミのスゴイところは、知りたいという好奇心が強く勉強家で、弱音を吐かないことだとのこと。カリームから託された仕事は、休みの時でも責任をもってこなし、なぜと疑問に思ったことは納得するまで質問してくるのだそうだ。ちなみに、彼女はフランス人だということに今年はまだバカンスを取っていない!理由は、足を痛めている父がバカンスを取らないのに、私が取れる訳がないとのことだ。本当に何て献身的で良かった娘なんだろう!彼女が仕事に加わってから、身体的にも精神的にもかなり楽になったと語るカリーム。将来的には彼女にドメーヌを引き継ぎたいと彼は考えている。

今回、ノエミが一人カーヴで発酵の進み具合を記録しているところちょっと声をかけ写真を撮らせてもらったのだが、彼女が「きちんとかわいらしく撮ってね!この私の写真を見た誰かと素敵な出会いがないとも限らないでしょ!」と乙女心満載の笑顔を見せてくれた!(そのあたりはカリームゆずりかもしれない笑)



写真③ カリームを手伝う愛娘ノエミ

将来のスーパーヴィニョロンヌの誕生に大いに期待したい!(2019.9.20.ドメーヌ突撃訪問より)

※弊社HP「フォト・ギャラリー」より、カラーでサイズの大きい鮮明な写真をぜひご覧くださいませ